

PRESS RELEASE

【報道関係者各位】

2008年11月20日
株式会社 サミーネットワークス

中学生の「頭」と「心」をサポートするケータイ受験ポータルサイト

『uchico (うちこ) by ウチらのベンキョー委員会』

業界初・No.1! 開始3カ月でアクティブ会員10万人を突破!!

株式会社サミーネットワークス（本社：東京都港区 代表取締役社長：大野政昭）では、「携帯電話で遊びながら勉強できる'エデュテイメント型（注1）学習サイト「ウチらのベンキョー委員会」（携帯電話会社3キャリア公式有料サイト、今年2月サービス開始）の姉妹版無料サイト「uchico（うちこ）」を2008年8月8日に開設し、中学生の頭とココロをサポートするケータイ受験ポータルサイトとして、大変好評をいただいております。

このほど2008年11月20日、中学生を中心としたアクティブな会員が、早くも10万人を突破いたしました。「ケータイで楽しみながら学ぶ」をコンセプトとしたケータイサイトとしては、異例のスピードで成長を遂げており、業界初の出来事であり、会員数10万人は業界No.1の最大規模（※当社調べ）です。

「受験」「勉強」に興味を持っているセグメントされた健全な10万人の中学生会員を保有する「uchico（うちこ）」は、これまでにはなかった新しい価値を提供できる優良媒体として、教育業界をはじめ各方面から大いに注目して頂いており、多くの期待の聲が寄せられております。

子どもたちの心を捉えた本サイトは、どのようなものなのか、今一度知っていただければと思います。

注1）エデュテイメントとは「エデュケーション（教育）」と「エンターテイメント（楽しみ）」を組み合わせた造語で、主に楽しみながら学ぶ学習用のソフトウェアのことを指します。

<http://uchico.jp/>

子どものチカラを育むケータイコンテンツ

学力

★遊びながら“ベンキョー”できちゃう【ウチ仔塾の合格講習】

慶應義塾大学中村伊知哉教授も学習効果を認めたケータイでのエデュテイメント。「勉強と言うよりゲーム感覚で楽しくやれた」「点数も大幅にアップして一石二鳥」という中学生の声も届いています（※3P参照）。子どもたちの口コミで会員を伸ばしています。

コミュニケーション力

★友達や親と一緒に“ベンキョー”【ウチ勉★ピック】

友達や家族と一緒に、リアルでゲームで協力したり、競争しながら力試しができてしまいます。勉強を教えてもらったり、教えたり、コミュニケーションを関連させることで、より学習効果をUPします。

判断力

★生きていくチカラ「正しい物事の判断力」を鍛える【こころ部】

「ケータイネチケット」の本質は、「他人を思いやる心・想像力」であるという考え方にに基づき、「こころ」全般に関するコンテンツを取り扱い、生きていくチカラとなる、正しい物事をみきわめる「判断力」を、鍛えるためのコンテンツです。

メンタル力

★メンタルを磨いて本番に備える【合格！メントレ】

自分のメンタルのタイプを診断、テストや大切な日に備えて、メンタル力をアップします。実力を発揮するためにはメンタル力も備えましょう。オリンピック選手やプロスポーツ選手のメンタルトレーニングコーチを務める、副島昇先生監修です。

■uchico（うちこ）開発プロデューサーたちの想い

「uchico」は、子どもを持つ、親社員たち5人が、携帯コンテンツ会社として「子どもたちに今、できること」として生まれました。「危険な目には遭わせたくない」「楽しく勉強してほしい」「友達とも仲良くやって欲しい」「判断力を養って欲しい」など、親としての“子どもへの想い・願い”がこめられています。

※uchicoのコンテンツ詳細は次ページをご参照ください。



■ウチらの受験コミュニティ『uchico (うちこ)』

ユーザー対象は高校受験を目指す中学生及び復習をしたい高校生です。子どもたちに最も身近なメディアで、使い慣れているケータイを通して、遊びながら楽しく勉強できる携帯コンテンツです。利用は全て無料。公式有料サイト『ウチらのベンキョー委員会』(有料)の姉妹版です。

【URL】 <http://uchico.jp/>



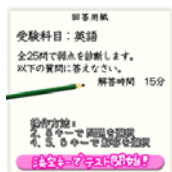
【uchico】トップ画面イメージ



ウチ仔塾の合格講習

英語・歴史・古文の3教科について、たった15分の『実力診断ケータイ模試』(人気No.1コンテンツ)でニガテ分野を診断。弱点が分かったら、『うごく参考書』で重要ポイントを総チェック!!楽しい仕掛けでバッチリ勉強できちゃいます。実際の高校入試問題をもとに作っているので、本番の練習・実力UPの超本格派です。

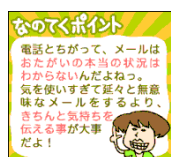
【ケータイ模試 イメージ】 【うごく参考書 イメージ】



こころ部

「ケータイのココロエ&ココログケ!」として、ケータイやネットを正しく安全に使うためのマナーやネチケット、トラブル解決法などを楽しく学べます。マンガを使ったり、危険クリック体験ができたリ、またケータイに関する悩みごとにも答えます。

<http://cocoro-bu.net>



【こころ部 イメージ】

ウチ勉★ピック

友達と!!家族と!!コミュニケーションしながら英語や歴史の力試しができる機能を設けた勉強フラッシュゲームの全国大会です。厳しい受験勉強のちょっとした息抜きとなるイベントです。

【ウチ勉★ピック ゲームイメージ】



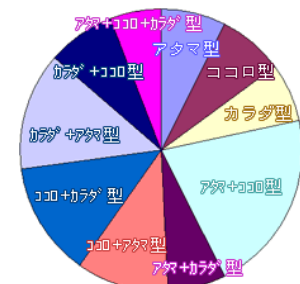
個人戦用



チーム戦用

合格!メントレ

プロスポーツ選手も取り入れているメンタル理論を用いて“本番で勝てる気持ち”を作り出す、メンタルトレーニングができるコンテンツです。数々のプロスポーツ選手やオリンピック選手のメンタルトレーニングコーチを務めてきた副島昇先生監修。テスト本番や大事な時に備えて毎日、その日に合わせたトレーニングができます。



【メントレタイプ分布図】

中学生に一番多いのは、「アタマ+ココロ」型

【参考資料】 「uchico」で1週間勉強をしてもらった後に、学力テストを行って、学習効果を測定しました。以下は、被験者からの感想の声と、慶應義塾大学中村伊知哉教授からのコメントです。

効果測定を受けた子の感想の声

- **英語 23点⇒39点 歴史 16点⇒46点**へUP!! (R.M.さん/市立第二中学校3年)
このあいだ実力テストがあったのですが、似たような問題がいくつか出て、「あ！これサイトのやつじゃん！」って思い出しすらすらとけました。
正直**1週間やっただけで点数が上がる**とはびっくりです!!
もう友達に教えるのは勿体ないくらいですね。
- **歴史 70点⇒92点** へUP!! (A.N.さん/私立S女子中学校3年)
楽しくやることができ**勉強が苦にならない!!**ノートや教科書が不要で荷物が少なくてすむ!!
ゲームをしながら楽しく勉強することができるなんて今までやったことがなかったから、新鮮でおもしろかったし、点数も大幅にアップしてて一石二鳥だなと思いました!!
勉強の息抜きに楽しくゲームできて点数も上がるなんて、みんなに勧めなきゃと思います!!
- **英語 10点⇒20点** へUP!! (Y.I.さん/区立H中学校3年)
ただ携帯で遊んでただけだし、そんなにたくさんの時間やったわけじゃないのに、
点数が延びるのは凄いい嬉しいしラッキーです!!**やっぱり楽しく勉強できるのは嬉しい!!**
- **歴史 44点⇒69点**へUP!! (N.O.くん/区立F第二中学校3年)
勉強と言うより**ゲーム感覚で楽しく**やれた。布団に寝そべってもできたので、**楽チン**だった。

慶應義塾大学 中村伊知哉教授も学習効果を認めた!!

今、最も効果のある学習法～ケータイで学ぶ

ケータイで勉強？遊びながら学ぶ？
そうです。矛盾するようになって、実はとても大きな可能性があるのです。

勉強は、つらくて、難しい。

それを楽しく、自ら進んでできるようにする方法はないものだろうか。
これは各国共通の永遠のテーマであり、
これまでも語呂合わせの暗記法や学習マンガの開発など、
さまざまな工夫もなされてきました。

コンピュータを使った「エデュテイメント」、つまり教育（エデュケーション）と娯楽（エンターテイメント）を組み合わせ、楽しく学ぶソフトウェアも研究開発が進められてきました。

しかし、日本ではなかなか普及しません。
子どもたちには、本やコンピュータといったメディアと
とつきにくい面があるのかもしれない。

でも日本は、世界で最もケータイが発達している国。
ケータイは、青少年が肌身離さず楽しんでいるメディアです。

中学生と社会との接点ともいえるケータイを使って学力アップを図る。楽しい教材を開発し、青少年とコミュニケーションしながら学習効果を測定していく。

可能性の広がりを感じます。

今回、サンプル数は少ないながら、学習効果の測定が行われ、成績の向上が見られました。
今後も教材の開発・改良と、効果の測定とを組み合わせ、
発展していくことが期待されます。

勉強は教科書よりケータイで。

そんな時代が来るのも、そう遠くないかもしれません。



【中村伊知哉 HP】

<http://www.ichiya.org/>

中村伊知哉
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授
NPO法人「CANVAS」副理事長

1961年生まれ。京都大学経済学部卒。大阪大学博士課程単位取得退学。博士(政策・メディア)。
1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。電気通信局、放送行政局、通信政策局、パリ駐在、官房総務課を経て1998年退官。
1998年－2002年MITメディアラボ客員教授。
2002年－2006年、スタンフォード日本センター研究所長。
2006年10月慶應義塾大学DMC機構教授に就任。
総務省参与、情報通信審議会専門委員、文化審議会著作権分科会専門委員。融合研究所代表理事、NPO「CANVAS」副理事長、(株)CSK顧問。
著書に『通信と放送の融合のこれから』(翔泳社)、『デジタルのおもちゃ箱』(NTT出版)、『インターネット、自由を我等に』(アスキー出版局)など。

【参考資料】 「uchico」で1週間勉強をもらった後に、学力テストを行って、学習効果を測定しました。以下は、測定結果と測定の概要です。

効果測定結果の詳細

◆点数推移（教科別）

◆英語

氏名	事前テスト	事後テスト	前後差異	備考
A君	40	40	±0	
B君	43	45	+2	
Cさん	95	85	-10	※私立有名中学在籍
Dさん	40	38	-2	
Eさん	23	39	+16	
Fさん	10	20	+10	
平均点	41.8	44.5	+3	

◆歴史

氏名	事前テスト	事後テスト	前後差異	備考
A君	48	33	-15	
B君	44	69	+25	
Cさん	70	92	+22	※私立有名中学在籍
Dさん	54	58	+4	
Eさん	16	46	+30	
Fさん	41	39	-2	
平均点	45.5	56.2	+11	

◆あるある大実験 点数推移（対象者別）

氏名	事前テスト	事後テスト	前後差異	備考
A君（英語）	40	40	±0	
A君（歴史）	48	33	-15	
2教科平均	44.0	36.5	-8	
B君（英語）	43	45	+2	
B君（歴史）	44	69	+25	
2教科平均	43.5	57	+14	
Cさん（英語）	95	85	-10	
Cさん（歴史）	70	92	+22	
2教科平均	82.5	88.5	+6	
Dさん（英語）	40	38	-2	
Dさん（歴史）	54	58	+4	
2教科平均	47	48	+1	
Eさん（英語）	23	39	+16	
Eさん（歴史）	16	46	+30	
2教科平均	19.5	42.5	+23	
Fさん（英語）	10	20	+10	
Fさん（歴史）	41	39	-2	
2教科平均	25.5	29.5	+4	

調査実施 2008年8月15日～2008年8月26日の間で効果測定可能な連続7日間
 実施内容 1教科20分／2教科実施で40分
 ①事前テストを受験する
 ②当社指定コンテンツ「うちのベンキョー委員会」と「uchico」を1週間毎日携帯で遊ぶ
 ③事後テストを受験する
 事前事後テスト範囲 歴史：近代の日本の歩み（頻出1位）／近世の日本2（頻出2位）
 英語：文法（頻出1位）／単語変形（頻出2位）
 当社指定コンテンツ 無料コンテンツ『uchico』内にある【うごく参考書】
 「近代の日本」「近世の日本2」「文法」「単語変形」
 有料コンテンツ『うちのベンキョー委員会』内にある【歴史deラップ】
 「近世の日本2」「近代の日本の歩み」
 調査対象者 全国偏差値で「45程度（自己申告）」の中3（男2名、女4名）
 出題レベル 難易度は、中堅公立高校入試レベル

【参考資料】 以下は、「uchico」の「合格！メントレ」コーナーの概要およびイメージと監修者プロフィールです。

■「uchico(うちこ)」の新設コーナー『合格！メントレ』とは

プロスポーツ選手にも実績を持つ「調体研究所」が提案するメンタルトレーニング法「メントレ理論」を用いて、**本番に勝てる“キモチ”を作り出す合格サポートコンテンツ**として、ウチらのベンキョー委員会のサイト内に新設されたコーナーです。

具体的な利用方法は、3種類のテスト(1種は初回のみ)とトレーニングを組み合わせる事で、メンタルの充実度をあらゆる“メントレ指数”をアップさせていきます。

メントレ指数とは、気持ちの充実度をあらゆる指数タイプテスト、バランステストの結果により算出される総合的な数値。

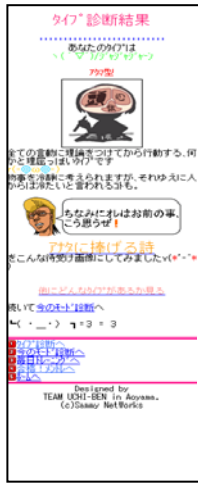
毎日メンタルトレーニングを繰り返すことにより、メンタル指数がアップしてき、より強いメンタルと集中力を育みます。

◆「合格！メントレ」画面イメージ

[TOPイメージ]



[診断結果]



◆ 監修者 副島 昇(そえじま のぼる)氏 プロフィール



1948年生まれ 佐賀県出身。

日本大学在学中よりYMCAにて青少年社会体育を学び、地域社会体育活動20年を経て1994年「有限会社調体研究所」設立。数々の特許商品を開発・販売の傍ら、スポーツ業界及び企業での「メントレ」指導が話題を呼び、数々の功績を残す。

[略歴]

1990年 登録商標「調体」を提唱、8ミリビデオによるスポーツフォーム解析(バイオメカニクス解析)を開始、プロ野球・プロゴルフ・プロテニス界の有名選手を数多く指導する。

1991年 ドイツツェルン大学にて調体理論をバイオメカニクスの分野で発表、注目を浴びる。

1992年 高校硬式野球をメンタルトレーニング(メントレ)と合わせチーム契約し、数多くの有名高校の甲子園出場をサポートする。

1993年 SAJオリンピックナショナルチームエアリアル種目を指導。関節可動域測定装置スタンサー(国際特許)を開発、以後スキー・スノーボードのナショナルチーム選手を数多く指導する。

Ⅱ 東東京代表 修徳高等学校の地区大会をサポートし、見事甲子園出場を果たす。

1994年 「調体」理論を生かした健康関連用品を開発、介護用品と併せ、ベンチャーコンクールなどで数多くの表彰を受ける。

1998年 体軸測定器「スタンサー」が国際特許を取得。

1999年 松下精工株式会社と商品開発契約締結。「スタンサー」や「捻れ機能付きベッド」の技術指導を行い、商品製造・販売を行う。

2002年 ソルトレイク冬季オリンピック スノーボード女子ハーフパイプ代表 森奈賀子専任コーチを務める。(メントレ契約)